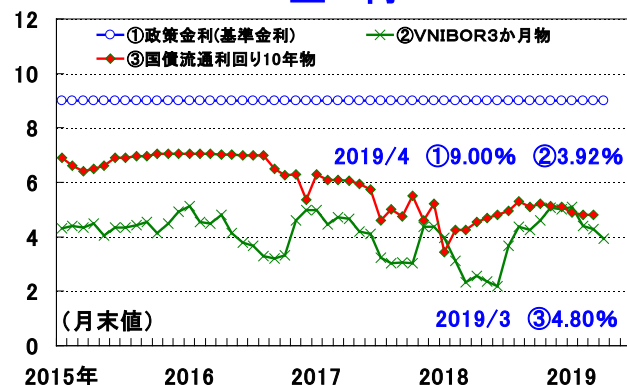


グラフで見るベトナム経済 2019年5月号(No. 112)

ベトナム景気は足元で回復の勢いが強まっている。企業部門に関しては、4月の輸出が前年比+7.5%（前月は同+5.4%）と5か月ぶりの高い伸びとなり、同月の鉱工業生産も同+9.3%と前月の伸び（同+9.1%）をやや上回った。同月の製造業PMIは52.5（中立水準は50）と2か月連続で上昇し、製造業の景況感は回復基調で推移している。家計部門も好調であり、3月の新車販売台数は前年比+44.9%（前月は同-6.1%）と約2年ぶりの高い伸びとなり、4月の小売売上高も同+11.6%（前月も同+11.6%）と12か月連続で2桁増を維持した。

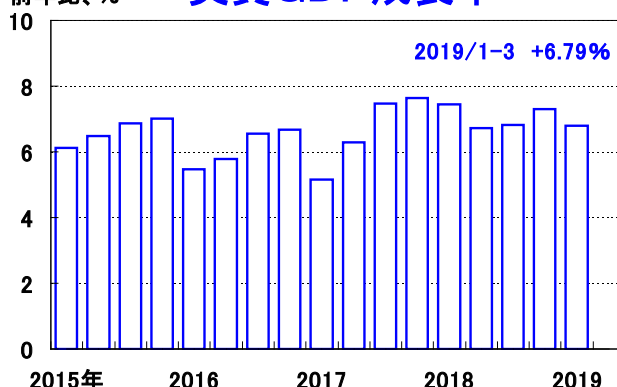
年利、%

金利



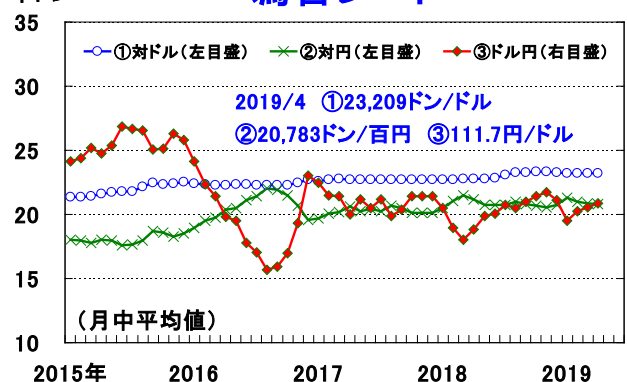
前年比、%

実質GDP成長率



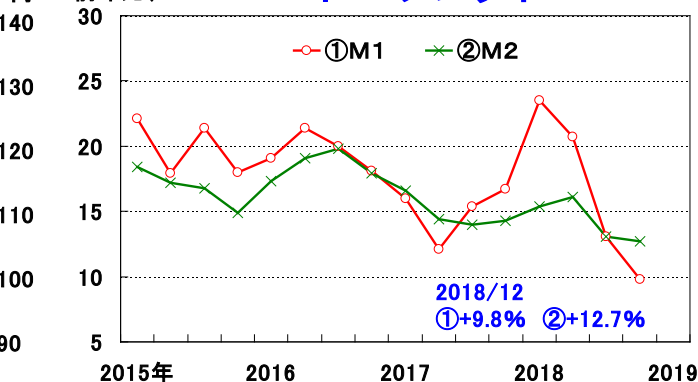
千ドン

為替レート



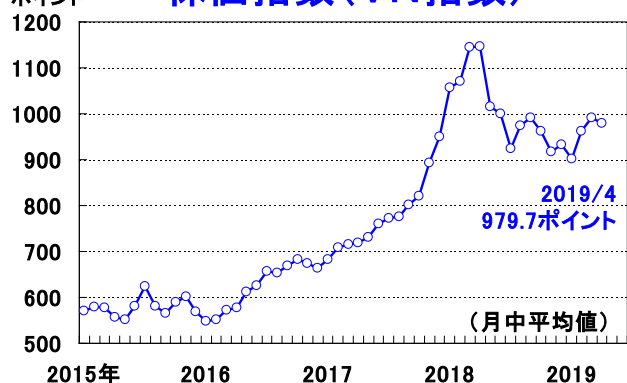
円

マネーサプライ



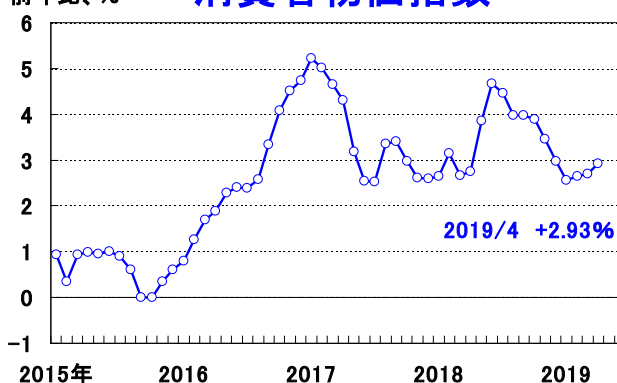
ポイント

株価指数(VN指数)



前年比、%

消費者物価指数

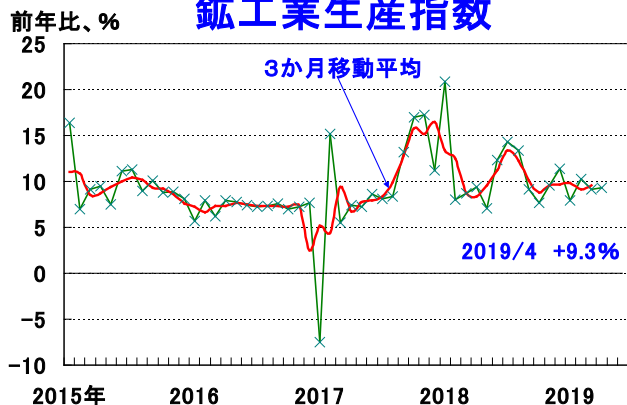


【今月のピックアップ: 1～3月期は対日輸出が急増】 ベトナムの関税局によると、2019年1～3月期のベトナムの対日輸出は46億ドル、前年比+6.7%と急増した。CPTPP(環太平洋パートナーシップ協定)の発効を受け、これまで日本の関税の対象となっていた農産物や水産物などの関税の大半が即時に撤廃された。この影響により、日本向け輸出品目の過半は伸びが高まった。とりわけ、肥料が前年同期に比べ数量ベースで509%、金額ベースで1,158%の増加となったほか、化学製品や動物用飼料等なども大幅に伸びた。日本に加え、CPTPPに参加しているカナダ向けの輸出も大幅に増加している。

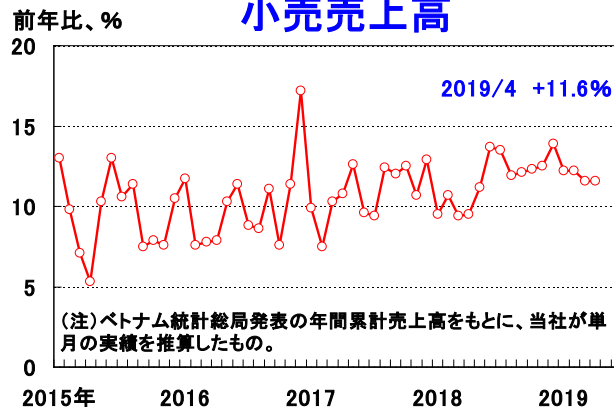
(出所) ベトナム国家銀行 (SBV)、ベトナム統計総局 (GSO)、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。

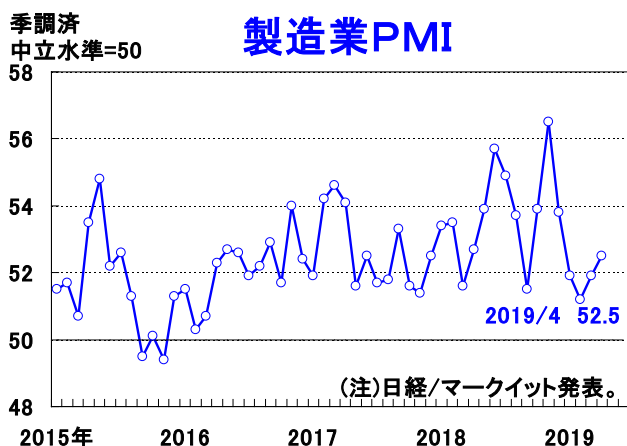
鉱工業生産指数



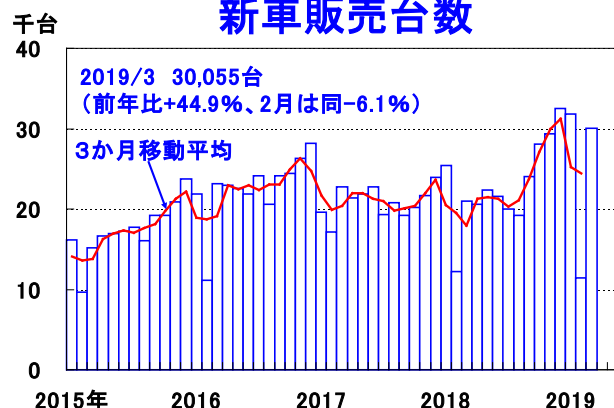
小売売上高



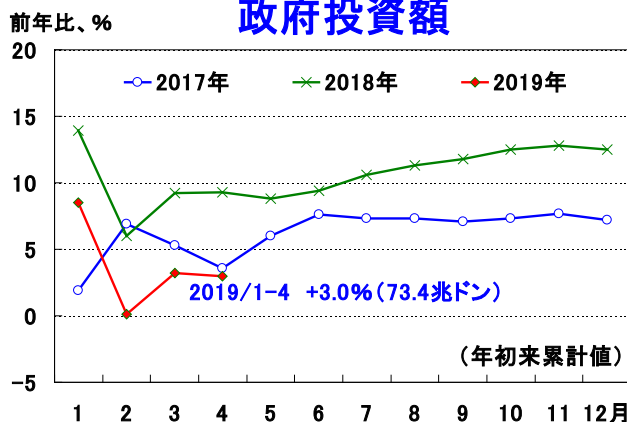
製造業PMI



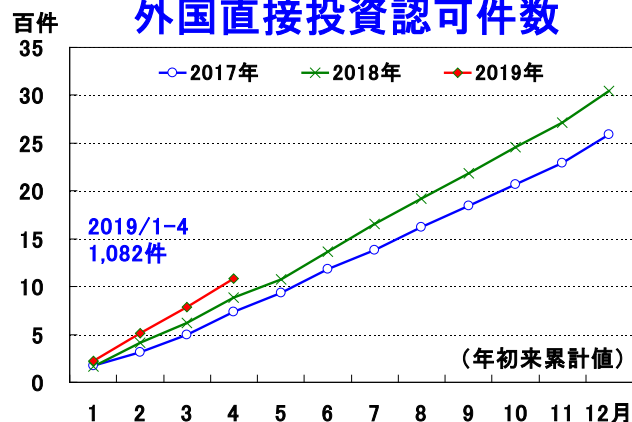
新車販売台数



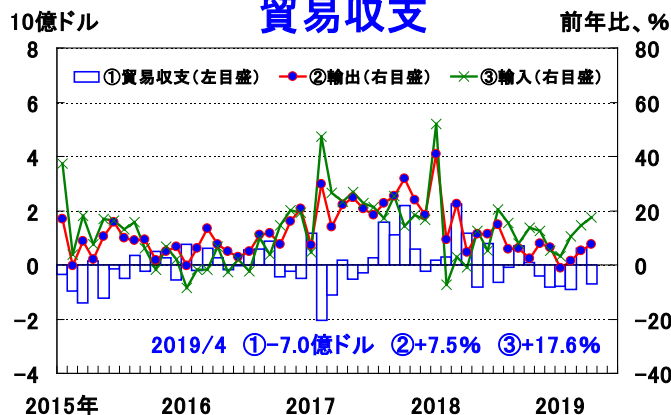
政府投資額



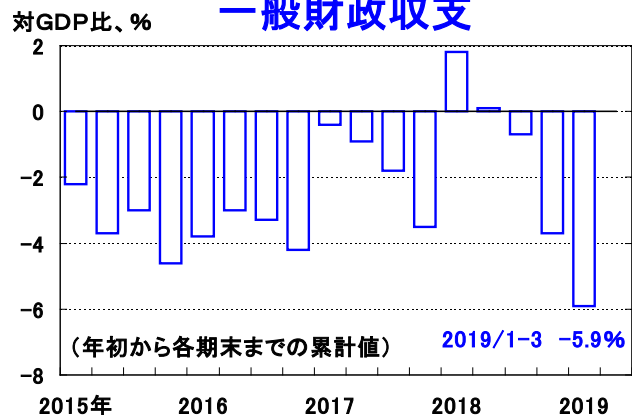
外国直接投資認可件数



貿易収支



一般財政収支



(出所) ベトナム統計総局 (GSO)、ベトナム自動車工業会、ベトナム国家銀行 (SBV)、IMF、CEIC、ブルームバーグ

本レポートの目的は情報の提供であり、何らかの行動を勧誘するものではありません。本レポートに記載されている情報は、浜銀総合研究所・調査部が信頼できると考える情報源に基づいたものですが、その正確性、完全性を保証するものではありません。ご利用に関してはお客様ご自身で判断くださいますようお願いいたします。本レポートは情報提供のみを目的として浜銀総合研究所・調査部が作成したものであり、横浜銀行との何らかの取引を勧誘するものではありません。